



日章学園九州国際高等学校校長便り 弥生

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：やり抜く力

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和3年(2021年)3月2日(火)校長 屋田伸仁



一陽来復



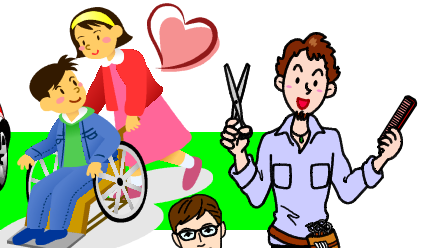
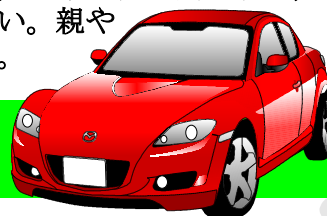
3月に入り、いよいよ卒業シーズンを迎えました。本年度の生徒達はコロナ禍の中でさまざまな学校行事や教育活動の縮小や中止を余儀なくされました。「一陽来復」という言葉があります。冬が来ると春が必ず来ます。今は大変でも、この後きっといいことがあるという意味です。明るい将来に向かって、みんなで力を合わせてこの難局を乗り越えましょう。

さて、先月号で今年の学園スローガン「やり抜く力」GRITについて紹介しました。古今東西あらゆる分野で、成功を収めた人達は、皆この「やり抜く力」を持っているとわかりました。しかし、人はだれでも、がんばっている最中、失意や挫折にも出会います。そのとき、どう乗り越えるか。そこで、参考になる故事成語の一つを紹介します。中国のよく知られた「孟母断機」です。

孟子は少年の頃、家を出て先生のもとで勉強をしていました。ところが、勉強がいやになって、途中であきらめて、家に帰ってきました。孟子のお母さんはちょうど織物を織っていました。お母さんは「もう学問はちゃんと仕上げましたか。」と聞きました。すると、孟子は「いや、まだ仕上げていません。」と答えました。すると、お母さんは突然ハサミを取り、織りかけていた織物を真っ二つに切ってしまいました。驚いた孟子が「どうしてそんなことをするのですか。」と聞くと、お母さんは「おまえが途中で学問をやめて帰ってきたというのは、母がこの織物を断ち切ったのと同じです。」と言って、涙を流して説き聞かせたというのです。最後まで、織り上げれば、美しい反物になるものを、途中で切ってしまったら何にもなりません。ただのバラバラの糸にすぎません。孟子に言い聞かせたお母さんの思いや気持ちは、郷里にいる皆さんのご両親もきっと同じです。卒業後に逆境や困難に出会っても、途中で投げ出さずに、「やり抜く力」で自分の夢や目標を実現してください。親やお世話になった方々に感謝してがんばってください。



卒業後の進路も充実



学校便り10月号から先月号まで本校の特徴として、「寮のある単位制高校」、「少人数指導」と「異文化コミュニケーション力の育成」を紹介してきました。本年度最終号で、最後にもう一つ紹介します。それは、「卒業後の進路も充実」しているということです。ある保護者の方が不登校の娘が本校に入学しても、卒業後が心配だ、卒業後の進路が気になると相談してきました。そこで、学園併設校の専門学校や短期大学校を紹介しました。日章学園グループ校に関心を持っていただけました。

- ①「宮崎ユニバーサル・カレッジ」(自動車工学科)
- ②「宮崎医療福祉専門学校」(看護学科・理学療法士養成学科)
- ③「鹿児島レディスカレッジ」(キャリア養成学科・ヘアアート学科)
- ④「奄美看護福祉専門学校」(こども・かいご福祉学科・看護学科)
- ⑤「鹿児島ホテル短期大学校」(ホテルビジネス科)

これらの専門学校や短期大学校の進学については、学園併設校としての特典もあります。(入学金の減免制度等)もちろん、これら以外の上級学校への進学や就職についても一人ひとりトコトン面倒を見て、きめ細かな進路指導を行っていきますので、ご安心ください。

補足ですが、日章学園グループは福祉分野にも力を入れています。養護老人ホームや認定こども園、保育園等もあります。更にいろいろ詳しく知りたい方は、ぜひ本校へご連絡、ご相談ください。



